

なはーと ベイビーシアター プロジェクト のきろく

なはーと ベイビーシアタープロジェクト

アートを通してあかちゃんとおとなの新しい関わり方を発見する「なはーとベイビーシアタープロジェクト」がはじまりました。0歳～2歳のあかちゃんと、あかちゃんに関わるすべてのおとなたちが、お互いに心地よく影響しあえる空間を、時間をかけてつくっていきます。

2024年度は、本プロジェクトの導入となる講座と、市内の子育て支援拠点でのおでかけワークショップを行った上で、最後になはーとで5回連続のワークショップを開催して、ひとつの作品をつくりました。

プロジェクトのあゆみ

2024年5月 はじまりのワークショップ

7月～11月 おでかけワークショップ

12月～2月 「みんなのかたち モーイモーイあしびー」

はじまりのワークショップ

はじめの一歩として、先駆者である弓井さんをお迎えしてベイベーシアターを知る・体験する講座を開催しました。親子参加の講座では、あかちゃんが最初に発達する感覚「触覚」をつかったワークや、プチベイベーシアターの体験をしました。おとな向けのレクチャー&ワークショップでは、座学に加えて、あかちゃんの視点になって体を動かしてみたり、短いベイベーシアターをつくってみたりしました。アーティストや保育関係者、子育て中の方が参加し、意見交換も活発に行われました。弓井さんには、プロジェクト全体についてもアドバイザーとして関わっていただいています。

参加者の声「感覚を大事にすることで、あかちゃんを尊重していきたい」「普段の保育や子育てでも、もっと心地よくできるかもしれない！」



弓井茉那
(BEBERICA theatre company 代表)
「あかちゃんと一緒にせかいをつくる」をテーマに、2016年カンパニーを設立。京都を拠点に全国各地でベイベーシアターの普及・啓発活動を展開している

Photo: Akiko Russell

5/24



あかちゃんと同じ世界をみてみよう！
はじめてのベイベーシアター講座
協力：子育て支援センターていーら

5/25



社会を変えるアートの実践「ベイベーシアター」
のレクチャー&ワークショップ
場所：那覇文化芸術劇場なはーと 小スタジオ

おでかけワークショップ

7/6 みんなのかたち

協力：子育て支援センターはっぴい
アーティスト：津波博美・平良亜弥
内容：布でできたやわらかいひもを、いろいろな形に変化させて遊びました。小さなボールにして転がしたり、頭にぐるぐる巻いて帽子にしたり…！ 1つの素材から、遊びは無限に広がります。



8/8 カラフルな海

協力：子育て支援センターすまいる
アーティスト：久場麗美
内容：大きな袋に砂を入れて、サラサラと音を聞いたり、色や温度の異なる絵の具を入れて、手でこねたり、足で踏んでみたり！最後には、個性豊かなカラフルな海が出来上がりました。



子どもとゆっくり向き合う時間が普段はなかなかとれないので、参加してよかった



9/4 バムちゃんとおそぼろ♪

協力：繁多川公民館 アーティスト：羽地知香
内容：おなじみの手遊び歌や、オリジナルソング、大きな布をつかったワークや、絵本の読み聞かせ…多様なプログラムが展開されていて、あかちゃんたちの大きな変化を感じられました。

はじめてみるものを怖がったり、ドキドキしながら触ってみたり…いろいろな表情を見ることができた

10/19 みんなのかたち

協力：地域子育て支援センターむるが家
アーティスト：津波博美・平良亜弥
内容：ふわふわ、もこもこ、ざらざら…いろいろな素材の布やロープに触れて、ひっぱって、身につけて遊びました。あかちゃんの好き・苦手を発見して、親子によって様々な遊びかたをしていました。



11/8 お部屋いっぱい新聞紙であそぼろ♪

協力：子育て支援センターすまいる
アーティスト：平岡昌也
内容：たくさん新聞紙を使って、思い思いに遊びました。ぐるぐる丸めてボールにしたり、細かくちぎって降らせたり。マスキングテープも使うと、洋服や生き物、なんでもつくることができます。



ベビーシアターをつくるワークショップ 「みんなのかたち モーイモーイあしびー」

日付：2024年12月21日（土）・2025年1月11日（土）・1月18日（土）・1月25日（土）・2月2日（日）

場所：那覇文化芸術劇場なはーと 小スタジオ

アーティスト：津波博美・平良亜弥

5回連続のプログラムをなはーとの小スタジオで開催し、12組の親子が参加しました。「かたち・いろ・うごき・おと」に着目して、アーティストと参加者が一緒になってひとつの空間をつくりあげました。最終回は観客もいれておひろめ会を開催。おともも思いっきり体を動かす、なはーとオリジナルのベビーシアターが誕生しました！各回2時間とたっぷりワークの時間をとり、さらに1時間ほどのゆんたくじかんを設けることで、終わった後はすぐに帰らなくても大丈夫に。また、多くのサポーターにご協力いただき、リラックスできる環境をつくりました。毎回同じ場所・同じメンバーで行うことで、保護者もあかちゃんも安心して取り組むことができ、回を重ねるごとに表情や関係性に変化を感じられました。

参加者の声「動きや音に対して、あかちゃんがこれほど敏感に反応するとは…！」「みんなでひとつの空間をつくるという体験ができてよかった」「子どものために参加したけれど、いつのまにか自分がたのしんでいた！」



なはーとベビーシアタープロジェクト
「みんなのかたち モーイモーイあしびー」

アーティスト 平良亜弥、津波博美

音楽 古謝麻耶子

音楽サポート 犬塚拓一郎

身体表現 岩木桃子

サポーター 石垣真由美、津波さくら、那覇市ファミリーサポートセンター

出演 ワークショップ参加者のみなさま
事務局 本多まどか（NPO法人1万人井戸端会議）

記録/写真・テキスト 普久原絵里子

記録/映像 森井雅子

フライヤーデザイン 久場麗美

特別協力 山内盛彰

那覇文化芸術劇場なはーと 平岡あみ、長嶺一輝

もっとくわしく知りたい方は、
QRコードからご覧いただけます。



ダイジェスト動画
(YouTube)



レポート
(なはーとウェブサイト)

津波 博美

「ベイベーシアターって何?」と思った方も多いのではないのでしょうか。私もその一人でしたが、初めて尽くしの中で、みんなと一緒に創り上げていくところに魅力を感じました。

0~2歳の子どもと保護者が楽しめる空間にするため、まず私と平良亜弥さんが「楽しい!」と思えることや、カラフルな素材を取り入れました。制作・音・身体表現の分野でアーティストやサポーターの協力もあり、私たちの枠を超えてより楽しい表現の場になったと思います。

アイスブレイクを通じて場が和み、回を重ねるごとに自然と会話が生まれていたようで、嬉しく思いました。即興の音に反応するあかちゃん、その姿を見て笑顔になる大人たち——あかちゃんの安全をみんなで見守りながら、同じ時間を共有できたことに幸せを感じました。

ワークショップ後の参加者の感想もとても参考になりました。意見を次のワークに活かすことで、私たちアーティストだけでは気づけない視点を獲得ことができ、より良い作品になったと思っています。

最後はみんなで踊り、喜びを分かち合う、沖縄らしいエッセンスが詰まった時間になったのではないのでしょうか。また、みんなで面白いことをやりたいですね!



津波 博美 (つはひろみ)

南城市出身。ロンドン芸術大学キャンパwel大学院修了。現在は南城市の新開保育園でアートクラスを担当。創造力を育みながら世界とつながる喜びを伝えることにも力を注ぐ。

平良 亜弥

建物の外から覗くと、あかちゃんたちが過ごす不思議な空間がある、活動自体がインスタレーションのようになっていたらいいな、というふわっとしたイメージがありました。全てが手探りでしたが、最終的には自由に変化するカラフルな素材を使い、即興的な音楽の中でごちゃまぜになってモーイモーイする、不思議で面白いものが生まれたと思っています。

おひろめ会での合言葉『まるまるぼーん』は、おでかけ編で生まれたもので、丸い形とゼロのイメージ、bornの意味と音をかけてつくりました。「まるまるぼーん」とあかちゃんが呟くと、会場全体に幸せな気持ちが咲いて、魔法にかかったようでした。

回を重ねるごとに、場をつくる空気感が緩やかにまとまっていく感覚が心地よかったです。安心感に満たされて、そういう場をみんなで作くりあげることができたのは、『みんなのあかちゃん』という意識が共有できていたからだと思います。だからこそ、あかちゃんたちもその子らしい反応をしめてくれたのだろうと感じています。こんなふうに世界が成り立ったらいいな、と思えるそんな時間でした。

観客に刺激を与える側になった参加親子のみなさんはもちろん、役割を超えて向き合ってくれたサポーターさん、関係者全員が魅力的でした。またみんなと遊びたいです。



平良 亜弥 (たいら あや)

那覇市出身。琉球大学教育学部美術教育専修卒業。アート・教育・地域における様々な活動に携わる。年齢や立場を超えた関わりとクリエイティブな場づくりを行ってきた。